

事業の概要
事業開始年度: 昭29年度~
大項目: 基本目標 06 健全で自立したまちづくり
中項目: 基本施策 01 簡素で効率的な行政運営
小項目: 施策 12 その他事務管理
事務事業名: 09 三国地区財産区管理運営事業

事業の目的
対象(誰・何に対して): 三国地区民 約300人
目的(何のために): 三国地区財産区所有財産の管理のため
事業の意図する成果(どのような状態にしたのか): 保育を計画的に実施することにより、森林の荒廃を防止、森林機能の維持を図る。

事業の実績
細事業名: 一般管理事業, 財産区管理事業, 植樹事業, 林道維持修繕事業
事業の説明: 植林、伐採、間伐等の管理行為等 売買契約、請負契約の締結等 収入、支出決算に関すること等管理行為の審議のため管理会を開催する。そのための準備、会議のまとめ等の財産区の管理を行なう。
優先度: 高

事業費等
事業費: 2,802 (千円)
事業費計: 4,223 (千円)
国県支出金: 59 (千円)
受益者負担金: 80 (千円)
繰入金: 109 (千円)
その他(): 2,028 (千円)
一般財源: 2,045 (千円)
受益者負担比率: 2.6%
結果指標: 対前年比 183.3%, 活動コスト 798,000円, 単当たりコスト 266,000円

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果
成果指標名: 財産区自力造林の保育等の施業面積
年度: 平成20年度(4), 平成21年度(4), 平成22年度(5), 平成23年度目標値(5)
実績値(B): 3, 5.5, 11.9
達成率(B/A): 75.00%, 137.50%, 238.00%

事務事業の評価
5段階評価(A~E)のランク基準
A: 高い B: やや高い C: 普通 D: やや低い E: 低い
妥当性の評価: 市との関与の妥当性 (C), 必要性 (C)
効率性の評価: コスト (C), 手段 (C)
有効性の評価: 目的達成度 (C), 市民参画度 (C)

進行年度(H23年度)の改革改善内容
状況: 拡充, 現状継続, 見直し, 縮小, 整理統合, 休止, 廃止・完了
説明: 森林を健全に維持するために計画的に保育管理する必要があるが、事業費、地元の負担を減少するため、県補助事業等を活用する。公園造林については、造林業者を備前市森林組合とし、健全な保育管理を行なう。

総合評価
5段階評価(A~E)のランク基準
A: 高い B: やや高い C: 普通 D: やや低い E: 低い
評価区分: <A-E> (C)
森林の荒廃を防止するために、毎年計画的な保育管理を行なう必要があるが、地元負担金が発生する事業については、地元と協議する。また、県等の補助を活用しながら、保育管理を行なう。

平成24年度の方向性・取組目標
方向性: 拡充, 現状継続, 見直し, 縮小, 整理統合, 休止, 廃止・完了
取組目標: 森林の荒廃を防止するために、毎年計画的な保育管理を行なう必要があるが、地元の負担等も考え、国、県等の補助を活用しながら、地元と協議し行なう。

が事業の目的、効果や指標を評価しその留意しな目標